

時はいま、貴方の胸に シルクロードの光彩を



左から「中国・カシュガルの少女」・「中国・敦煌 白馬塔」・「インド・ケッサリア大仏塔」・「クチャ・アイ石窟」 撮影：山田勝久さん

シルクロードは東洋と西洋の文化交流の道、仏教東漸（とうぜん）の中継地です。数多くの世界遺産があり、今なお異彩を放っています。講師の山田さんは、40年余にわたり流沙に響く文化の調べに心ひかれ、その研究成果を著書や放送に残しています。

今回は、西域調査26カ国66回の体験をもとに、映像と出土古文書の解説をもとに、シルクロード三千年の歴史の変遷と魅力をわかりやすく解説します。

歴史とは何か、人はどう生きるべきかに思いを馳せる人に、滋味あふれる歴史文化の智慧を贈ります。

第1回 11月28日（木曜日）古都「長安」・「洛陽」の光と影

第2回 12月19日（木曜日）邪馬台国と大月氏国の「金印」について

第3回 1月23日（木曜日）日本への仏教伝来とその後の展開

第4回 2月20日（木曜日）仏教東漸の古道、中央アジアの流沙と山河を訪ねて

第5回 3月19日（木曜日）敦煌の塑像と壁画、楼蘭の仏舍利塔の調査報告



講 師 山田 勝久さん (大阪教育大学名誉教授・神戸常盤大学客員教授)

会 場 大阪府立中央図書館 2階多目的室 (東大阪市荒本北1-2-1)

定 員 各回80名 (先着順、申込不要、受講無料)

時 間 各回14時から15時30分 (開場13時30分)

講演概要

第1回 11月28日（木曜日） 古都「長安」・「洛陽」の光と影

9王朝が都を置いた洛陽に、邪馬台国の使者や遣隋使が訪ねました。11王朝の都である長安には、阿倍仲麻呂や井真成たち遣唐使の遺跡が数多く残っています。日本文化と深いつながりのある両都の歴史と文化を、映像を交えながらわかりやすく紹介します。

第2回 12月19日（木曜日） 邪馬台国と大月氏国との「金印」について

邪馬台国との「親魏倭王」と、大月氏国との「親魏大月氏王」の「金印」に思いをめぐらせ、両国の使者の交流による倭国への仏教初伝の可能性を探ります。

第3回 1月23日（木曜日） 日本への仏教伝来とその後の展開

日本に仏教を伝えたのは、卑弥呼の使者か、渡来人か、それとも百済の聖明王かについて考察します。また、その後の日本文化に与えた仏教の影響について学習します。

第4回 2月20日（木曜日） 仏教東漸の古道、中央アジアの流沙と山河を訪ねて

ネパールから東北インドへ、そして、ガンダーラから中央アジア、新疆に伝わった大乗仏教、その古道を66回にわたって歩いた体験をもとに、東漸の道に花開いたオアシスの仏教遺跡を語ります。

第5回 3月19日（木曜日） 敦煌の塑像と壁画、楼蘭の仏舍利塔の調査報告

敦煌の莫高窟・榆林窟・西千仏洞の塑像と壁画の特質を、編年的に考察します。さらに、楼蘭の地下墓の壁画と仏舍利塔の調査報告をします。

【講師紹介】

山田勝久（やまだかつひさ）：1943年生まれ。北海道教育大学教授。大阪教育大学教授・学長補佐・附属池田中学校長。私立大学副学長・理事を歴任。現在は大阪教育大学名誉教授、神戸常盤大学客員教授。日本人として初めて楼蘭王国の陵墓の壁画を調査した。その他、パルミラやサマルカンドやネパールなどの古代遺跡を調査。著書に『唐代散文選』、『唐代文学の研究』、『唐詩の光彩』（笠間書院）、『パルミラの光彩』（雄山閣）など多数。

※講演会の参加に際して、障がい等の状況により、配慮が必要な方は事前にお知らせください。



[アクセス]

○近鉄けいはんな線（Osaka Metro 中央線乗り入れ）
荒本駅下車（1番出口）北西へ約400M
長田駅下車（3番出口）北東へ約1000M
東大阪市役所北側

問い合わせ先

大阪府立中央図書館 生涯学習事業担当

〒577-0011
東大阪市荒本北1-2-1
TEL 06(6745)0170 FAX 06(6745)0262

[駐車場]

○有料地下駐車場：120台/入庫後15分間は無料（平日は100円/60分、最大料金500円、土日祝祭日は150円/60分、最大料金600円）
○詳しくは、次のホームページをご覗ください。

<https://www.library.pref.osaka.jp/site/central/>